

平成26年度 第2回福知山環境会議幹事会

日時：平成26年5月15日（木）
午後6時30分～
場所： 市民交流プラザ4-1

1 あいさつ

2 報告事項

- (1) 各プロジェクト報告
- (2) ご当地キャラクター大集合 in 福知山について

3 協議事項

- (1) げんきいっぱい健康フェスタへのブース出展について
- (2) みどりのカーテン日本一計画について（カレンダー）
- (3) 環境基本計画後期5年間の振り返りについて
- (4) (仮称) 第2期福知山環境基本計画のメンバーの選任について

4 案内

『福知山の自然遺産』 発行シンポジウム
由良川の自然探偵団 一陸と水の生きものを探してみようー
大江山で星を見る会 2014 春

5 今後の行事予定

- 5月16日（金） みどりのカーテン植付け出張授業（大正・雀部小学校）
- 5月17日（土） 『福知山の自然遺産』 発行記念シンポジウム
川口・成和コミセンでのみどりのカーテンセミナー
- 5月18日（日） 由良川自然探偵団（水辺編）
バザールタウン・グリーンホームセンター・日新地域公民館
でのみどりのカーテンセミナー
- 5月23日（木）～ 気仙沼支援
- 5月25日（日） 由良川自然探偵団（陸編）
- 5月29日（木） みどりのカーテン植付け出張授業（日新中学校）
- 5月30日（金） みどりのカーテン植付け出張授業（昭和小学校）
- 6月21日（土） 第10回定期総会、新環境基本計画策定委員会

次回幹事会開催予定日

6月 日（ ）

場所：

平成26年4月24日

由良川クリーン作戦参加者 様

京都府立綾部高等学校
校長 福井 真介

「第2回由良川クリーン作戦」について（お礼）

陽春の候ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、去る4月12日に実施いたしました、分析化学部主催の「第2回由良川クリーン作戦」に御参加いただきましてありがとうございました。この取組は、由良川のゴミの現状を知っていただくとともに、少しでも由良川をきれいになりたいという思いから企画いたしました。昨年以上の多くの皆様方の御協力により、無事終えることができました。

今回の取組を通じて、生徒達も今まで以上に由良川の保全活動を行う気持ちが芽生えたようです。次回実施の際にも、是非御参加、御協力いただきますようお願い申し上げます。

今後もより多くの方々に御参加していただけるよう、関係機関、団体とも連携し、由良川のネットワークを広げ、美しい由良川を守り、次世代に継承していきたいと考えております。

まずは略儀ながら、書中をもってお礼申し上げます。

追録

回収したゴミの量：125.79kg（昨年度62.19kg）

参加者（部員、関係者含む）：54名

協力団体：綾部市環境保全課、国土交通省福知山河川国道事務所、福知山環境会議、由良川流域ネットワーク、河川レンジャー、FMいかる、成美大学短期大学部、綾部高校PTA、綾部高校生徒会 等



由良川 工作戦

東京府立高等学校

94-33

東京府立高等学校

福知山環境会議 里山PJ定期活動報告

- ◇ 日時:平成26年5月10日(土)12:30~14:30
- ◇ 中六人部 庵戸山
- ◇ 参加者 宮本・四方・大槻・岸田 (計4名)

- ◇ 活動内容 活動地の整備、山の散策



活動地の草刈と排水路の整備を行いました。

この排水路で、
水はけが良くなればいいのですが。



次回の定例活動予定日

- 【日時】 平成26年6月7日(土) 13時より
- 【場所】 庵戸山活動地
- 【内容】 活動地の整備

福知山市、実施率倍増作戦

緑のカーテン 日本一目標

気温が上がる夏を前に、福知山市と福知山環境会議が、「実施率日本一」を目指す「緑のカーテン」の普及活動を本格化させている。9日は同市三和町千束の三和地域公民館で、緑のカーテンとして窓際に植えるゴーヤの植え付け講習会を今季初開催。今後も様々なPRを展開し、実施率向上を目指す。

(大島渉)

緑のカーテンは、ゴーヤやアサガオなどを窓際で育てることで日光を遮り、葉が持つ蒸散作用で室内の温度上昇を抑える。エアコンなどの使用を控えることで、節電や地球温暖化の防止につながる。市は2011年に、15年

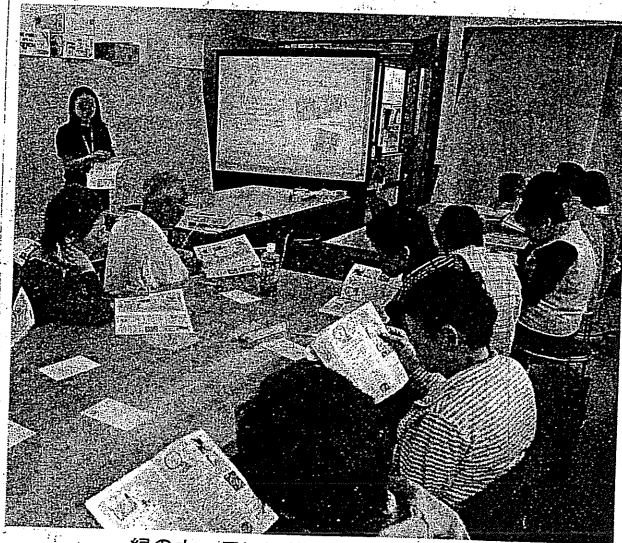
9月の実施率を25%（7500世帯）とする目標値を設定。環境会議のマスコミ

トキヤクスター「ゴーヤ先生」と講習会や学校での出前授業などを行い、PRに努めてきた。

この結果、13年9月の実施率は8.3%と、12年9月の7.4%から上昇。今年9月の目標値は、2倍以上の18%（5600世帯）に設定している。

すでに市内では夏日を記録しており、目標達成に向けて普及活動を強化。今月9日～6月7日の6日間に

苗販売 ホームセンターと協力



緑のカーテンに使うゴーヤの育て方などを学ぶ出席者（福知山市で）

は、市内9か所で30～60人規模の講習会を開く。実施率が低い市街地での取り組みを促そうと、初めてホームセンターと協力して苗の販売も計画。公共施設や家庭を対象にした「みどりのカーテン自慢コンテスト」や各種イベントなどでも啓発していく。

三和地域公民館でこの日行われた講習会では、講師を務めた環境会議の土田真奈見さん（38）が、約20人にゴーヤの育て方や果実の食べ方などを紹介。「市内のあちこちで緑のカーテンが見られるようになればうれしい」と協力を求めた。市環境政策室は「少しでも目標に近づけるよう呼びかけ、市民一体で環境に優しいまちづくりを進めたい」としている。

をし、色にメリハリをもち、花や木のそばに名札を立てることも考えたい。今後の植栽計画などをまとめた花地図を作成中だ。

昨秋は台風18号で一部が浸水する悲しい出来事もあった。それでも復興し、活

福知山の応援に37体集結

全国から親子連れらでにぎわった

北海道から九州まで全国各地の当地キャラクターが集うイベントが、福知山市厚生会館で開かれた。昨年、福知山花火大会屋台爆発炎上事故や台風18号水害に見舞われた福知山を元気づけたため、37体が集結。会場は親子連れらでにぎわった。

返すほどの熱気ぶりだった。全国の当地キャラクターが集まっていた福知山お城まつりが今年には中止になったことから、福知山環境会議とチームドックの実行委員会が、「当地キャラクター大集合イベント 福知山2014」と名付けて催した。両日、日新聞社など後援。舞台ではゴージャスな福知山のキャラクタのチームドックによる福知山踊りで始まり、ちびゴージャが来福

への感謝の言葉を述べ、「福知山の応援をお願いします」と呼びかけた。京都府広報誌のまゆまゆ、兵庫県西脇市の黒田兵衛、愛媛県今治市のいまほりバリエさん、青森県黒石市のつゆキーンなどが、特技を含めてPR。当地キャラで結成したバンドのライブステージもあり、会場を沸かせた。



キャラクターの周りは多くの人が集まった

舞台ではゴージャスな福知山のキャラクタのチームドックによる福知山踊りで始まり、ちびゴージャが来福

観客席には埼玉県志木市のカバルなどがおり、周りの人たちは抱きついたり、写真を撮ったりして興奮した様子だった。双子で成小小学校2年の柴田紗良さん、最年長は「こういつのは初めてで緊張したが楽しかった」「当地キャラに会えて良かった」と喜び、父の樹秀さん(43)は「こうしたイベントは地域が盛り上がりつつあるとすね」と話していた。このイベントには市内外から約5千人が来場した。

観客席には埼玉県志木市のカバルなどがおり、周りの人たちは抱きついたり、写真を撮ったりして興奮した様子だった。双子で成小小学校2年の柴田紗良さん、最年長は「こういつのは初めてで緊張したが楽しかった」「当地キャラに会えて良かった」と喜び、父の樹秀さん(43)は「こうしたイベントは地域が盛り上がりつつあるとすね」と話していた。このイベントには市内外から約5千人が来場した。

山野草とエビネ 多数並べ展示会 市植物園

(安村昌之会長)が育てた春咲きの山野草と、植物園が管理するエビネなどを出展する

展が3日から6日まで、福知山市の三段池公園にある市植物園で開かれた。

つくりと観賞し、楽しんでいった。エビネは販売も用意した。安村会長は「今年は大変な雨に恵まれた

新しい飼育舎から屋外スペースに出たキヤラは元気に動き回り、園児は興奮した様子で「キヤラちゃん」「シッサーパンダ」などと呼んでいた。

「餌は与えないで」動物園はキヤラが早くも人気になっていることを憂ふ一方、屋外スペースにいるときに禁止されている餌を与

える来園者がいて困っている。二本松俊邦園長は「肥満にならないように体重管理をしているので、餌は絶対に与えないでほしい」と呼びかけている。

「ももちゃん」と名付けた応募者に記念品が贈られた。桃太郎は、オスの「クリンとメスの福」の第5子。体重920gで、尻高25センチ、全体的に黒い毛に覆われているが、シロエテナガ

ザルの特徴でもある手の先、目の上の部分は白い。同日は「ももちゃん」で応募した22人のうち8人が出席。このうち名付け親大賞に選ばれた舞鶴市田園町の中田葵彩ちゃん(5)は、

「うれし。また来てみたい」とほかにんでいた。二本松園長は「赤ちゃんは次男で3月3日生まれたから「ももちゃん」が多いと思っていました。第1子は生まれて1週間で死にま

福知山地方の天気

7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
18時	21時	0時	3時	6時	9時	12時
天気	天気	天気	天気	天気	天気	天気
気温(℃)	20.9	14.7	12.6	10.3	9.9	17.9
雨量(㎜)	0	0	0	0	0	0

【京都府の概況】今夜からあすにかけて、高気圧に覆われて晴れるが、おからは、気圧の谷や温った空気の影響で、雲が広がりやすく、北部では雨

「近く」で「便利」ほくとしんさ 地域元氣宣言 京都北部信、http://www.hokutsu.co.jp

あすの運勢 吉田龍三 四緑△細かな部分までチェックせよ 五黄△先輩の助言でチャンスつかむ 六白△意欲心を出すと手廻れで衰運 七赤△地道なやり方を考えて百日に 八白△相手の挑発に乗ると失敗する 九紫△家族との対話が楽しい大吉

あすの最低気温 9.1° あすの最高気温 24.8°

平成26年4月21日

各団体・組織の皆様

福知山市福祉保健部健康推進室 次長

「福知山市健康増進計画推進イベント」

元気いっぱい健康フェスタ2014第1回実行委員会の開催について（通知）

日頃は、本市保健福祉行政の推進につきまして御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このたびは福知山市健康増進計画推進イベントである「元気いっぱい健康フェスタ2014」の実行委員会に参加を表明いただき、ありがとうございました。

つきましては、なにかとお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、下記の日程で第1回実行委員会を開催いたしますので、御参加くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成26年5月22日（木） 午後1時30分～3時 予定
- 2 場 所 福知山市中央保健福祉センター（北本町二区）
- 3 内 容 元気いっぱい健康フェスタ2014の開催について
- 4 その他 当日は、乳児健診が午後から実施予定となっておりますので、
駐車場は福知山パーキングをご利用ください。
受付で、駐車チケットをお渡しします。

3月に郵送しました出展カードも当日ご持参ください。

年間の実行委員会の日程調整もお世話になりたいと思いますので、スケジュール等がわかるものをご持参いただけると有難く思います。

《問い合わせ先》

福知山市中央保健福祉センター

担当：小原・長沢

電話：0773-23-2788

元気いっぱい健康フェスタ2014

出展カード

第1回実行委員会時にご持参ください。

出展団体名		福知山環境会議
連絡先	担当者氏名	細井 克俊
	住所	〒 ー 福知山環境会議事務局 〒620-0913 京都府福知山市字牧285 (福知山市環境パーク内)
	電話番号	TEL 0773-22-1827 FAX 0773-22-4881
	メールアドレス	kankyou-park@city.fukuchiyama.lg.jp
出展コーナー名		
出展内容		<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境会議活動紹介 ○ エコライフ診断 ○ その他 環境教育学習 ○ ぴーや先生からの話題
舞台発表		あり なし
		「あり」の場合はタイトルと内容
その他意見		

* 裏面もご記入ください

元気いっぱい健康フェスタ2014

資材確認カード

★★★ 資材の準備は基本的に各団体でお願いします ★★★

◆当日必要な資材◆

出展団体名	福知山環境会議 (ユース分)					
必要資材	長机	パイプ椅子	丸椅子	パネル 120×180	電源	その他
(個数)	6	12		3	1	
備考						

◆事務局で準備が必要な資材◆

必要資材	長机	パイプ椅子	丸椅子	パネル 120×180	電源	その他
(個数)	6	12		3	1	
備考						

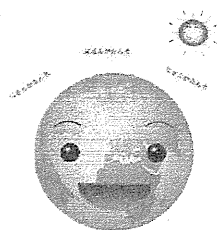
*ご希望された数全てを準備することができない場合もありますので、
御了承ください。

*後日変更のある場合は、ご連絡ください。

*裏面もご記入ください

第1回実行委員会に
ご持参ください。

京都府地球温暖化防止活動推進センターでは、
京都府内での地球温暖化防止活動支援のための
環境学習教材・機器を貸し出しています。



啓発パネルや環境教育機器等を貸し出しています。

学校での授業、地域での学習会、企業での研修などにご活用ください。

また当センターでは、講師や教材や実践例の紹介、講師の派遣なども行っています。

気軽に事務局までご相談ください。

<貸し出しの手順・ルール>

1. 貸し出しを希望される方は、まず事務局まで電話もしくは電子メールでご連絡ください。貸し出し希望日に空きがあるか等をお調べいたします。空いていれば、仮予約します。仮予約期間は3日間とし、4日経つと、仮予約はキャンセルとさせていただきます。
2. 申込用紙(裏表紙)に必要事項をご記入のうえ、事務局へ FAX または電子メールで送信してください。
申込用紙ダウンロードはこちら(Microsoft Excel 43KB)
<http://www.kcfca.or.jp/xbitmtop/center/download/kashidashi.xls>
3. 事務局より、電子メールもしくは FAX にて予約が完了した旨を、返信いたします。
(返信のない場合は、お手数ですが、再度事務局までご確認ください。)

原則として以下の要件でお貸しいたします。

- 貸し出し期間は、最大2週間までです。使用後はお早めにご返却ください。
- 京都府内での温暖化防止目的の使用に限らせていただきます。
- 破損、紛失の場合は、修理代を申し受けるか、同一品をお返しいただきます。
- 送料はご負担いただくこととなりますので、ご了承ください。

(京都府地球温暖化防止活動推進員の方には優遇措置があります。お問い合わせください。)

<お問い合わせ・お申し込み(事務局連絡先)>



京都府地球温暖化防止活動推進センター

Kyoto Center for Climate Actions

〒604-8417 京都府京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3

TEL:075-803-1128 FAX:075-803-1130

E-,mail:center@kcfca.or.jp <http://www.kcfca.or.jp/>

みどりのカーテン日本一計画 今後の予定

5月16日	金曜日	9:10	9:40	11:30	大正小学校	植え付け出張授業	土田	細井	
		13:30	14:05	15:30	雀部小学校	植え付け出張授業	土田	細井	
5月17日	土曜日	9:00	10:00	11:30	川口地域公民館	地域公民館植付講習会	土田	細井	
		13:00	14:00	15:30	成和地域公民館	地域公民館植付講習会	土田	細井	
		9:30	10:00	11:00	バザールタウン	ホームセンターミニセミナー	土田	細井	
5月18日	日曜日	11:00	11:30	12:30	グリーンホームセンター	ホームセンターミニセミナー	土田	細井	
		13:00	14:00	15:30	日新地域公民館	地域公民館植付講習会	土田	細井	
5月29日	木曜日	15:30	16:00	17:30	日新中学校	植え付け出張授業	土田	細井	※水谷
5月30日	金曜日				昭和小学校	植え付け出張授業	土田	細井	
6月2日	月曜日	13:00	14:00	15:30	北陵地域公民館	地域公民館植付講習会	土田	細井	
		9:00	10:00	11:30	六人郡地域公民館	地域公民館植付講習会	土田	細井	
6月7日	土曜日	13:00	14:00	15:30	大江地域公民館	地域公民館植付講習会	土田	細井	

ビジョン	タイトル(プロジェクト名)	ビジョン・プロジェクトNo.
①自然まち・くらし	動植物調査プロジェクト	No. -
目的・効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福知山の動植物の現状を調査し、把握することを目的とします。 ・ 市民参加による調査を通じて、環境保全意識の啓発効果が期待されます。 ・ 調査結果の蓄積は、環境保全活動や環境学習の基礎資料として活用されることが期待されます。 		
目標(値)		
H21年度： H22年度： H23年度： H24年度： H25年度： <ul style="list-style-type: none"> ① 三段池ビオトープの整備。(年1回) ② 自然観察会の開催(年2回以上) ③ 水生生物調査(年2校以上) 		
実績(主な取組)		
H21年度： <ul style="list-style-type: none"> ① 三段池ビオトープの整備 ② 自然観察会(3回、市民53名、小学生96名) ③ 水生生物調査(1回、市民29名) H22年度： <ul style="list-style-type: none"> ① 三段池ビオトープの整備 ② 自然観察会(2回、市民35名) ③ 水生生物調査(5回、小学生66名、中学生20名、市民30名) H23年度： <ul style="list-style-type: none"> ① 三段池ビオトープの整備 ② 自然観察会(1回、市民20名) ③ 水生生物調査(2回、小中学生42名) H24年度： <ul style="list-style-type: none"> ① 三段池ビオトープの整備 ② 自然観察会(2回、市民18名) ③ 水生生物調査(1回、小中学生40名) H25年度： <ul style="list-style-type: none"> ① 三段池ビオトープの整備 ② 自然観察会(4回、市民50名) ③ 水生生物調査(2回、小学生24名) 		
評価・考察		
<ul style="list-style-type: none"> ① 環境学習の場所として三段池ビオトープの整備を継続し、自然観察会を開催していることは、啓発効果があるが、参加人数が少ない。 ② 自然観察会は環境意識の啓発効果はあるが、何年かやっていると、参加者の広がり越来越少くなっている。 ③ 水生生物調査は、小中学校、公民館など定着した感がある。 		

市からの働きかけによる所、イベント内容による所が大きいと考える。
 継続してゆくべきと考える。